

父母の会主催「辻井いつ子氏 講演会」

さる11月29日(日)、オンラインにて辻井いつ子氏の講演会が開催されました。辻井氏は、世界的ピアニスト辻井伸行氏のお母さまです。この日は、現在子育てに奮闘されている山手学院父母の会の皆さまに多くの貴重なお話をいただきました。

たとえば伸行さんが高1の頃に迎えた反抗期のお話。ステージで心震わせる音楽を奏でる伸行さんにも、反抗期はあり、お父さんと喧嘩をすることもあったそうです。「子どもは上から物を言われるのを嫌う。親子・夫婦であっても言い方や言葉の選び方に気を使うべき」、と辻井さんがおっしゃられた時には、多くの方が自分に思い当たるどころがあったのではないのでしょうか。家族という関係性、あるいは教員と生徒という関係性に甘えてはならず、相手に良いところを褒めながら、丁寧に言葉を選んで接していくことの大切さをあらためて思いなおさせられました。

そして、伸行さんが赤ちゃんの時は、アイコンタクトができない不安をかかえながらも、「前例がないからといって何かをやめてはいけない。人間の可能性は人が決めるものではない。子どもが強くやりたいと思ったことは、全力で支えてあげるのが親の役割だ」と、一人の人間の可能性開花に全身でサポートされたいつ子さんには、母として、そして人間としての圧倒的な強さを感じます。何より、音楽を通じて母と子としてつながりを強く感じられた、というエピソードから、人と人に最も大切なのは互いを深くわかり合い、いたわり合う「つながり」なのだと実感させられました。「明るく・楽しく・諦めない」をモットーとしている辻井さんから、画面を通して「自分も頑張ろう！」と元気をもらえるようなすてきな講演でした。

